

日 時 : 平成22年5月18日(火) 18:00 ~ 20:00

場 所 : 建築士会 会議室

出席者: (委 員 長) 金子 修司  
(副 委 員 長) 長田 喜樹  
(委 員) 芝 京子 石井 明 山根 三郎 山成 芳直 菊嶋 秀生  
長谷川 行彦  
(担当常任理事) 村島 正章  
(オフ'サ'-ル'-) 藤田 武(会長)  
(事 務 局) 岡部事務局長 松山職員 田中職員  
欠席者: (委 員) 平山 征宏 渡邊 一郎 二宮 智美

## 議 事

### 1. 第 1 回総務企画委員会の議事録案の確認

#### 概要

前回委員会議事録案を異議なく承認された(前回同様、メーリングリストで事前送付済み)。

#### 質疑応答

・特になし

### 2. 予算小委員会議事概要の確認について

#### 概要

異議なく承認された

#### 質疑応答

・特になし

### 3. 平成 22 年度予算(案)について

#### 概要

指摘された箇所を訂正し、総会に提出することとなった。

担当職員より、「平成 22 年度収支予算書(案)」(P.9)について説明

#### 質疑応答

- ・常任理事会に提出された資料と数字が異なる箇所がある。  
一般会計(収入の部)の前期繰越収支差額は常任理事会に提出された資料が誤りであったため訂正した。委員会費(P.11)が 50,000 円増えているのは、諸会議費に入っていた人件費の計上を委員会費に戻したためである。  
数字に変更が出た場合は知らせてもらいたい。
- ・CPD・専攻建築士費(P.10)が前年度予算額より増額しているが...  
本年度は専攻建築士の更新年度にあたる。更新費用の分だけ増額している。
- ・専攻建築士の更新についての PR 等を行っているか。

HP 及び雑誌の封筒に記載して PR を行っている。

・建築士定期講習の収支について、収入は前年度予算額の4倍になっているが、支出は前年度予算額の2倍にとどまっている。支出を抑えても問題は出ないか。

収支とも前年度の決算を基準にし、4回実施しても定員に達する見込みがあるので問題はない。

・総会で質問が出た場合、誰が回答をするのか。

事務局が受け皿となって逐次回答していく。

・特別会計から一般会計への寄付金の根拠についてはどのようになっているか。

平成21年度分については明確な根拠はないが、会計事務所と相談した結果妥当な額であるという回答をいただいた。

・Q&Aを作成するということになっていたが、その後どうなったか。

簡単なものではあるが事務局で作成している。

・備考の欄に脱字の箇所があるので、訂正していただきたい。

指摘された箇所を訂正し、総会に提出することとなった。

#### 4. 公益法人改革への対応に関する基本方針について

##### 概要

総会では、あくまで「方針」の決定である旨を強調し岡部事務局長が説明することとなった。

事務局長より、「公益法人改革への対応に関する基本方針(案)」(P.14)について説明

・役員会で公益法人改革についての情報がほしいとの要望があり、資料(P.16～18)をHPに掲載した。

##### 質疑応答

・総会では提案理由を読み上げた方が良い。

・総会では、メリット・デメリット論や公益目的の試算、支部との関連性についてはだいたい議論をしたが、特に公益目的の試算については50%を維持するのが難しいという旨、また、平成25年までに移行しなければ解散になる旨を強調して説明すべきである。

・宅建業協会が公益法人化を目指している。これまでやってきたことを大幅に変更するため反対という意見もあるが、地位を高める等を説明したようである。

・役員会では一般法人への移行が決定したように解釈されていたので、あくまで「方針」の決定であるという点を説明することが必要である。

・連合会への会費は連合会が公益法人となっても公益事業としては認められないのか。

県との相談では、感覚的には難しいとの回答をいただいている。

・「一般」という響きだけでマイナスに判断されているとも考えられるため、大きな違いがないこと説明すべきである。

・HPに記載されている委員会構成員の標記に誤り等があるので訂正願いたい。

訂正する。

総会ではあくまで「方針」の決定である旨を強調し、岡部事務局長が説明することとなった。

#### 5. その他

第329回役員会(案)(P.19)について

##### 質疑応答

・まちづくり担い手事業について、P.21 ページで補足がされているが、この件について説明を

していただきたい。

当該補助事業の収入を、一般会計・特別会計のどちらに計上しても不適切とはいえない。これまでやってきたものを急に変えるのはおかしいのでありのままで標記した。

・同様のものは全て特別会計に計上しているということか。

確たる決まりはないので、その都度判断したい。

・平成 22 年度は静岡士会経由で 1 件、神奈川士会独自で 1 件行う予定であるが、一般会計と特別会計のどちらになるのか。

一般会計の方が良い。

・会計については総務企画委員会と事務局とで組み立てを見直した方が良い。

・総会の成立要件の欄について、役員の出席数ではなく理事の出席数を先に記載した方が良い。

・理事の席と役員の席を分けてもらいたい。

担当委員より賛助小委員会の次回の開催について紹介された。

・7 月中旬であれば見学が可能である。

・50 名を上限に参加人数を考えていただきたい。

・ヘルメットを持参していただくようになる。

賛助小委員会で検討していくこととなった。

担当理事より第 53 回建築士会全国大会及び平成 21 年度かながわ地域貢献活動報告会の案内が配布された

横浜支部出身委員より横浜支部総会講演会の案内が配布された。

・6 月号の掲示板への掲載や全会員へのメルマガ配信を行う。

藤田会長より「建築基準法の見直しに関する検討会 今後の進め方(案)」(別添資料)について説明された。

**次回は平成 22 年 6 月 15 日(火)午後 6 時からの開催です。**